

偶数月月に1回、「抱樸館を支える会」会員の方にお届けしています

抱樸館を支える会 会報 2024. 10月 vol.67

2024年10月1日発行：抱樸館を支える会

抱樸館を卒業したら…

ひとりぼっちにならないように…

抱樸館福岡での生活は数カ月。この先もっと長い人生が待っています。自立し、仕事に就いても、うまくいかなかったり、つまづくこともあるでしょう。新しい生活がひとりぼっちでないように、抱樸館福岡は「ホーム」として支援しています。多くの人たちと関わって、元気に生活できるよう、アフターフォローや「えにしの会」(※詳しくは4・5ページ)でつながり続けます。

お花見・紅葉狩り

年2回(春・秋)に入居者・卒業生・スタッフが集まり、見慣れた顔、久しぶりの顔、新たな顔を確認し合う楽しい場となります



料理練習会

ひとり暮らしになったとき
困らないように
料理を覚えませ



カフェさんぽみち

卒業生同士がカフェの場で再会したり
入居者が新たに関係が結べる場所です
地域の方々も大歓迎

抱樸館福岡からの転居先

転居先	割合
居宅(アパートなど)	66.2%
施設	10.4%
寮	1.8%
帰郷	1.9%
病院(入院)	3.4%
自主・無断退居	12.7%
ご逝去	0.7%
その他	2.9%
計	100%

転居先は一人ひとりの状況に応じて、相談していきます。住まいは、地域の不動産会社と連携しています。



卒業生からのメッセージ

今回、抱樸館福岡の卒業生にお話を聞きました。

Nさん(50代女性)は救急車で病院に運ばれる以前の記憶がありません。自分がどんな性格だったのかどんな暮らしをしていたのか思い出せないうまま、抱樸館と出会い、日々の暮らしに楽しみを見つけながら歩もうとしています。

私は誰なのか

2年前の3月、交番で保護され、多分自傷行為と思うんですけど、出血が酷かったので福岡市の救急病院に運ばれました。救急車の中で「お腹に病気があるようですが、病院にかかっていますか？」と聞かれても、全然分からない。怪我をして救急車に乗っていることは分かるのですが、尋ねられて初めて、あれ、私はなんで色んな事が分からないんだろうと。

救急病院で検査して、お腹に腫瘍があることが分かり、手術設備のある病院に転院しました。転院先で脳も見てもらいましたが、記憶がないのは精神的なものによる可能性が大きいと言われました。入院中、何度も思い出そうとしましたが自分の事だけが何も思い出せないので。担当の社会福祉士の方が、「きっと思い出したくないから思い出さないだろうから、もう違う人生だと思って生きなさい、思い出す必要はない」とおっしゃるんです。だけど私は思い出したいんです。何から逃げていたのか、どんな暮らしをしていたのか。同じ場所の夢を繰り返し見たりして、そこがどこなのか思い出そうとする行為がやめられませんでした。

手術が終り、病気自体が治ると退院しなくてはいけない。担当の社会福祉士の方に相談すると、抱樸館福岡につないでくれました。

人と深く関わるのが辛かった

抱樸館福岡は2ヵ月間しかいなかったんです。たいがいの人は知らん顔してくれますが、干渉してくる人もいます。当時混乱していたし体もきつくてちょっと耐えられなかった。

人とコミュニケーションをとるのは嫌いじゃないんです。でも関係が深くなると会話の流れで、どこのご出身ですかとか聞かれますよね。そうすると適当な嘘をつかなくてはいけない、それがとても辛かった。人と関わらなければ嘘をつかなくていい。それで抱樸館福岡の住宅支援を受けて市内のアパートに移りました。

新しい戸籍を取得したこと

抱樸館福岡からの引っ越しで住民票を移さなくてはいけない。役所の人が戸籍がないと仮の住民票しか出せ

ないので、後に取り消されますと言われました。戸籍はどこかにあるのだろうけど記憶がなくて分からない。それで*法テラス(日本司法支援センター)を利用し、弁護士さんに相談して『就籍届』というのを裁判所に出しました。

裁判所が審議して、私のことを全国に照会したり、県警に行つて指紋照合したりしても、誰なのか分からなかった場合に就籍許可が降りるんです。結果、私のことは何も分からなかった。名前も分からないので社会福祉士の方がつけてくださいました。戸籍の住所はお世話になった病院の住所にし、生年月日も病院のカルテで作った日付で申請しました。抱樸館の担当の方に付き添ってもらい、裁判所に一年弱通つて新しい戸籍ができました。新しい戸籍ができて良かったとは思いますが、特別嬉しくはなかったです。

※国によって設立された法的トラブルの解決を支援する総合案内所

自分の社会性を学ばせてもらった抱樸館

抱樸館を卒業して2年が経ちました。今は一人暮らしのアパートで、生活のルーティンもできて仕事をしていないこと以外は普通に暮らしています。なるべく健康に気を付けて食事を作ったりしています。

抱樸館の担当の方とは病院に付き添ってもらう時などにお会いして、その時に聞いてもらいたいことをわーっとしゃべっています。それと社会福祉士の担当の方もお会いすれば普通に話を聞いてくれます。なんでも話せる人が2人いるから、それぐらいでいいかなと。

特殊な状況だったので、ここでお世話になって本当によかったと思います。自分がどんな人間だったのか記憶がない中、どんな時に喜んでどんな時に怒るのかわかったんです。自分の社会性を学ばせてもらったと思っています。

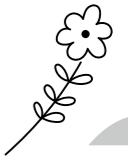


抱樸館福岡の「退居時アンケート」より

抱樸館福岡では、退居時に“新しい生活を始めるみなさまへ”アンケートをお願いしています。この1年の間に退居した人のアンケートの一部を紹介します。

アンケート内容

- ①抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？
- ②新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど



■ 20代の男性(2024年6月退居)

- ①最初の方は不安とここの生活になれるのに苦労しましたが、みなさんが本当に心やさしい方々で、とても話しやすく、不自由なく生活することができました。食事も3食しっかり食べることができて、ここに来る前は、入院していたため、がつつき食べることができなかったけど、ここでの食事はおいしく、がつつき食べることができました。ありがとうございました。
- ②まずは、新しい環境に早く慣れるように努力して、今通っている病院を継続して行って、新しい環境になれば、仕事探しを始めて、目標としては今年中には少しでも働けたらと考えています。ここでの生活は自分の中ではあつという間に過ぎていった感じでした。短い間でしかた大変お世話になりました。ありがとうございました。

スタッフより

まだ若いながら、親から離縁宣言を受け、居場所がなくなり入居されました。入居する前、貯金が尽きて路頭に迷った際に自死も考えるほど大変な状況にありましたが、入居後は居場所が確保され安心され元気になりました。お金の管理が苦手なので抱樸館にいる間に無駄使いせず頑張りたい、と自身で課題をしっかり考え、実際に入居後は無駄使いせず貯金が貯まり、自立をされました。

■ 20代の男性(2024年5月退居)

- ①抱樸館での生活は、職員の方たちが挨拶や会話をしてくださったことで、時間をあまりかけずに慣れることが出来ました。食事毎日、工夫をしてくださることで飽きることなく、食事を楽しむことが出来ました。暮らしていく中で、トラブルがあっても職場の方たちのお陰で後を引くことなく、二年間穏やかに暮らすことができました。
- ②これからどうしたらいいか不安の中で、館の職員の方がサポートしてくださることで、将来の道を見つけることが出来ました。そして、ここに来たことで就職し、そして大学に入るという目標を持ってました。これからも、ここでの経験を糧にして頑張っていこうと思います。今までありがとうございました。

スタッフより

義務教育を受けずに育ち、入居中に戸籍を作りました。時間を要したので、ファイバーリサイクルセンターでの就労訓練に参加しながら、様々な技能講習を受講されました。自動車の免許も一発で合格！高卒認定試験にも独学でチャレンジし、1科目以外はすべて合格されました。来年、再チャレンジするそうです。正社員就労が決まり、今後やりたいことに胸を膨らませて、転居されました。

■ 70代の男性(2024年1月退居)

- ①昨年8月に入館し、最初は人間関係で不安でした。月日がたつにつれ解消しました。館の皆様方も大変親切でした。自分では大変良い経験を積んだと思いました。
- ②一人暮らしも大変不安です。しかし自立に向け頑張りたいと思います。抱樸館へのメッセージは私にとっては今のままでいいと思います。皆さんお身体に気をつけて頑張ってください。

スタッフより

鹿児島県のご出身で、五人兄弟の三男として生まれ育ちました。鹿児島の西郷どんを思わせるような鷹揚なお人柄で笑顔がとてもチャーミングな方です。現在ではウォーキングに励まれるなど体調管理にも気を配られ、家計簿も付けられるなど規則正しい生活を送られています。

抱樸館福岡の アフターフォロー

抱樸館福岡では、卒業生に対して様々なサポート(アフターフォロー)を行っています。開所時から在職14年、現在副館長の山迫さんに、アフターフォローについてお話を聞きました。



抱樸館を卒業して地域でひとり暮らしを始めると、周りに頼れる人がおらず、孤独を感じる場合があります。そのため、抱樸館福岡のアフターフォローチームは、卒業生が地域で孤立しないようにサポートを行っています。誕生日にはバースデーコールをし、年2回の「きせつだより」や年賀状を送っています。また、定期的に連絡を取り合い、訪問することもあります。仕事をしている方には職場と連携しながらつながりを維持し、安否確認を行っています。

公的な支援では対応しきれない生活上の細々としたこともサポートしています。例えば、認知症が進行し高齢者施設に転居する方のアパート退居手続きや、銀行への同行、お金の管理など、多岐にわたる支援を行っています。

抱樸館福岡が開所した当初、アフターフォローはありませんでした。しかし、卒業生の数が増えるにつれて、アフターフォローを必要とする人も増え、人手も必要になりました。現在は5人体制で組織的に対応していますが、**制度的な狭間にある方への支援には行政からの費用的なサポートがないことが課題**となっています。私たちは、卒業生が困ったときに一緒に相談できる場所として、関わり続けたいと考えています。

抱樸館に入居している間は目が行き届きやすく支援がしやすいのですが、**アフターフォローでは対象者との距離があるため、時間と体力を要します**。最近では、支援対象の卒業生が高齢化しており、病院や施設への移動手続き、亡くなった方の葬儀や共同墓地への埋葬手続きが増えています。

コロナ禍で休止していたカフェや料理練習会が再開し、亡くなった方たちを偲ぶ会も再開予定です。これにより、少しずつ卒業生同士のつながりや見守り合いが自然に生まれています。それが理想の形ですが、相談員が間に入ることでうまくいくこともあります。**卒業生が地域とつながり、そのつながりが豊かになることが、アフターフォローチームとしての長年の望み**です。

私自身が心がけていることは、「一人の人間として相手と対等に向き合うこと」、「相手の想いに耳を傾けること」、「支援者も無理しすぎないこと」です。相談を受ける場面では、どうしてもシリアスになりがちですが、必要以上にネガティブに捉えず、少しでも前向きな未来と一緒に創造していけるよう心がけています。大変なこともあります、予想外のことやトラブルが起こることもあり、「逆に楽しい」と感じる毎日です。これが、この仕事を続けていく秘訣なのかもしれません。



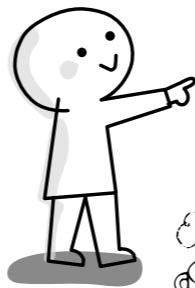
抱樸館福岡 副館長 山迫 麻帆さん
社会福祉士・精神保健福祉士
2010年、抱樸館福岡に入職。これまで相談員・主任を担う。2024年4月から副館長に就任し、現在産休育休中。
趣味は飲むことと食べることとお出かけすること。

対象者

過去に抱樸館を利用されたすべての方です。現在、約1600人の方が退居されていますが、そのうち、逝去された方や連絡が取れない方を除いた約800人の方々と連絡を取っています。

支援の内容

就労相談、居住相談、法律相談、介護保険の相談、障がい者支援からスマホの使い方まで多岐に渡ります。



卒業後のつながり…



料理練習会
校区の公民館にて

みんなでメニューを決めて料理し、会食します。入居者・卒業生の中には、元料理人の方や、料理が得意な方もおり、料理のコツを教えてもらえます。参加者からは「みんなで食べるとおいしい」「家でもやってみたい」といった声も聞かれています。



カフェさんぽみち
抱樸館福岡 食堂にて
(毎月 第2金曜日)

入居者、卒業生、職員、ボランティアで運営しているコミュニティカフェです。季節に合わせた企画を実施することもあります。地域の方も参加して地域とのつながりも広がっています。



納骨式
(3月・9月)

抱樸館を卒業して病院や居宅でお亡くなりになった身寄りがない方を、社会福祉法人グリーンコープが建立したお墓に年2回納骨しています。2023年度は13名納骨し、これまでに59名の方が納骨されました。



お花見・紅葉狩り
(3月・9月)

卒業生や入居者、職員が集まってお花見や紅葉狩りをします。厨房スタッフが作ってくれたお弁当をみんなで囲みました。

えにしの会

抱樸館福岡の入居者や卒業生を中心に、様々な活動をしているボランティア部です。

活動の目的は、

- 仲間の輪を広げること
- 生きがいづくり
- ホームレスを生まない社会をつくるための理解を広めること



園芸部
抱樸館福岡の庭にて

園芸部でお世話した芋を、「たのつりすっこ保育園」の園児と一緒に収穫しました。

園芸部でお世話した芋を、「たのつりすっこ保育園」の園児と一緒に収穫しました。



朝の清掃活動
主に抱樸館福岡の周辺地域を清掃します

同じ作業を皆で一緒にすることで、仲間意識が芽生え、入居者同士の良いつながりができます。町中がきれいになったと喜ばれています。

抱樸館を卒業して病院や居宅でお亡くなりになった身寄りがない方を、社会福祉法人グリーンコープが建立したお墓に年2回納骨しています。2023年度は13名納骨し、これまでに59名の方が納骨されました。

● きせつだより (年2回) ●

抱樸館の卒業生約800人に年2回お便りを出しています。抱樸館の近況やイベント案内などお知らせすると共に、困ったことがあった時など、いつでも気軽に相談ができるようにという思いも込めてお届けしています。

抱樸館福岡を退居する時、職員のみなさんと撮影した写真とメッセージを色紙にしてもらいました。悩んで元気がないときに、その色紙を見ると「元気をだしなさい」と言われているように感じます。今こうやって生きているのは、抱樸館のみなさんに会えたからです。抱樸館との出会いに感謝しています。

卒業生 Aさん



退居後もつながりを大切に、最後のときまで孤立しないよう働きかけています。

おとむらい牧師隊

おとむらい牧師隊は、福岡県内の牧師たちで結成された、NPO法人です。経済的な理由で、火葬だけの葬儀(直葬)をする方々のために、無償でお弔い活動を行っています。グリーンコープ生協ふくおかの福祉活動組合員基金に申請されたことをきっかけに連携が始まりました。



NPO法人
おとむらい牧師隊



抱樸館福岡の卒業生 Uさんの葬儀に参列した、青木館長と元相談員のレポートです。

Uさんはまだ62才でした。Uさんは抱樸館を4回利用されました。お酒の問題にも苦しみながらも、最新の5年間は就労継続支援事業所に通い、安定して過ごされました。今日はお兄さんご夫妻も参列いただきました。おとむらい牧師隊は、Uさんにキリスト教の信仰があったとか、なかったとか、そのようなことは一切、問題にされません。Uさんがこの世に生を受け、抱樸館で一時のあいだ過ごしたと、62年間の生涯を心に留めて、弔っていただきました。

抱樸館に辿りつく方は、みなさん人よりも苦勞の多い人生を歩まれています。

だからこそ…死後の世界や魂のことは誰にも分かりませんが、天国に行かれて、安らかに過ごされるのだと信じた。私はそのように思っています。

お骨はご家族の眠る長崎のお墓で眠ることになりました。どうぞ安らかに。また会いましょう。

抱樸館福岡館長 青木さん



NPO法人おとむらい牧師隊代表の石村さんからお声かけいただき、今は参列ボランティアとして、抱樸館福岡のご葬儀に関わらせていただいています。近隣の教会である箱崎キリスト福音教会が、おとむらい牧師隊の葬儀会場を提供してくださっています。司式者の青木牧師から聖書のお話、そしてUさんの支援記録から、丁寧に温かなメッセージをいただきました。

入居時に担当された山迫副館長からは、「本人にしかわからない生きづらさや、困難をお酒で紛らわしていたのかもしれない。人と関わりたくないと言いながら、人の温かさを求めていたのかもしれない。最後は、たくさんの支援者との関わりの中で過ごされました」と、Uさんとの思い出が語られました。それはUさんがひとりの人として大切に思われ過ごされてきた証でもあります。みなで、白いカーネーションを棺に納めて、お別れのご挨拶をしました。とても安らかな顔でした。

『出会い直し』という言葉があるそうです。私はお見送りする方が関わりがあった方だった時に、「お酒好きやったもんねー」とか「役所に行く時、あんな話したなあ」とか思い出します。抱樸館福岡で過ごす時間は、その方の長い人生のほんのひととぎに過ぎませんが、生前同じ時間を共有したからこそ、その弔いの時に『出会い直し』ができることは、とてもありがたいことだと感じています。

元相談員

抱樸館の共同墓地

抱樸館福岡に入居された方のなかには、家族との関係も無くなり孤立してしまった方も少なくありません。「自分が亡くなったあとは無縁仏になるしかない」「入るお墓がなくて不安だ」という声を受けて、2018年に福岡県糟屋郡にある、ささぐり極楽霊園にお墓を建てました。



墓石には、「絆」の文字を入れ、「いつまでも切れることのないつながりを持つように」と願いを込めています。



「抱樸館を支える会」の会費は、子どもたちへの支援にも活かされています。

みんなの居場所

居場所作り7月 月次報告書より

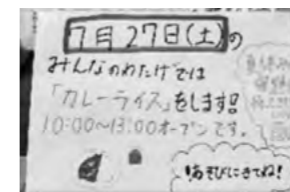
グリーンコープは子どもたちや地域の皆さんが安心して過ごせる居場所づくりをしています。子どもたちが気軽に立ち寄って遊んだり、宿題をしたり自由に過ごせる場所です。おとなも一緒に過ごせます。

佐賀

みんなのわたげみやき

今月も多くの家族連れ、子どもたちでにぎわいました。土曜日開催の日は「暑い日が続く、ここがあつて助かります!」「子どもと二人で来て安心できます」とママたちからも嬉しい声が聞けました。居場所に設置しているご意見箱には「マジ楽園!」、かわいいメモが入っていました。

特にカレー会は人気です。



鹿児島

吉野寺みらい食堂



夏休みのイベントとしてギタリストをお招きして、音楽に触れる機会を設けました。いつもとは違う時間を過ごし、子どもたちや保護者の皆さんも一緒に楽しんでいただきました。



子どもたち同士やはじめて参加される家族も見受けられ、とても賑やかようすでした。子どもたちのグループに声をかけると「カレーが美味しかった。もっと食べたい!」と元気いっぱい話してくれました。

福岡

みんなの居場所という



カルタで盛り上がる子どもたち

夏休みに入って人数が増え、40人分の食事を用意しています。子どもたちにはビーズのストラップ作りや折り紙での風鈴作りが人気です。

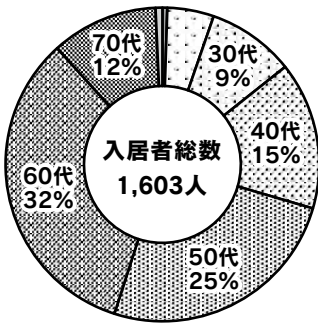
素敵な作品が出来ました!



余ったごはんでおせんべい作り。九州の形のおせんべいができがり「ここは何県?」と、地理の勉強にもなりました。

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2024年8月末までの入居者数



	人数	割合
10代	12	0.7%
20代	93	5.8%
30代	137	8.5%
40代	245	15.3%
50代	405	25.3%
60代	506	31.6%
70代	190	11.9%
80代	15	0.9%
計	1,603	100%

2024年8月末現在の入居者

71名(定員81名) 男性67名、女性4名

2024年7～8月の新入居者数・退居者数

新入居者数6名 退居者数8名

(注:8月末までの入居者数1,603名は、2度、3度入居した人も1名と数えています)

抱樸館熊本・抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員 以下の18団体が正会員です。
グリーンコープの各単協(15生協)
グリーンコープ連合会
NPO法人 抱樸(旧:北九州ホームレス支援機構)
社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員 2024年8月末の賛助会員は、以下の通り
グリーンコープの共同購入組合員 11,263名
グリーンコープの店舗組合員・一般の方 150名
企業賛助会員 99社

その他(抱樸館の所在地)

抱樸館福岡(福岡市東区) 2010年5月開所
抱樸館北九州(北九州市八幡東区) 2013年9月開所
抱樸館下関:新たに開設を検討中
抱樸館熊本(熊本市中央区) 2018年12月開所

抱樸館福岡に 来てみませんか?

●見学を希望される方(一般)は、次の手順でお申込みください。

- ①抱樸館福岡にお電話ください。
☎092-624-7771
- ②申込みフォームに必要事項を記入の上、送信してください。
(申込みフォームは右のQRコードからアクセスしてください)

見学申込
フォーム



●グリーンコープ生協の組合員で見学を希望される方は、所属生協を通じてお申し込みください。

「地域に開かれた場所として、多くの方に知っていただきたい」そんな思いから抱樸館福岡の見学を随時受け付けています。



●見学の申込について

実施日 月～金(祝日を除く)

所要時間 11:00～12:00(相談可)

費用 1000円/1人(別途お弁当をご希望の方はご相談ください)

定員 20人/1日

申込み締め切り 希望日の2週間前まで

※日程の変更をお願いする場合があります。

※お子さん(11歳まで)を同伴の場合、お子さんの見学料は必要ありませんが、昼食は各自ご準備下さい。また入居者に迷惑がからないよう保護者及び同行者でご注意下さい。

出前講座も受け付けています♪

ホームレス問題を身近に感じていただきたいという趣旨で「どのような人がホームレスとなっているのか?」「子どもたちにホームレス問題をどう話していますか?」などのお話をします。

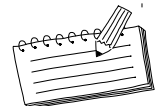
例えばこんな時に

- ・子ども会や学童保育の集まり
- ・地域の集まり
- ・学校の人権学習会など

費用:交通費(実費)・謝金(応相談)

まずはお気軽にお問い合わせください

☎092-624-7771(担当青木)



抱樸館を支える会 賛助会員・企業賛助会員 募集中!

◇一般の方、グリーンコープの店舗組合員

1口1,000円の賛助会費を何口でも申込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

◇企業賛助会員

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口(30,000円)以上でお願いします。申込みは、右記へ。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ内

☎ 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡 (電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)
〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州 (電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)
〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本 (電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)
〒860-0811 熊本市中央区本荘